



『ガンのいる風景をもう一度』

～湿地の活用が地域の未来を作る～

呉地正行

(日本雁を保護する会/ラムサール・ネットワーク日本)

アーカイブ配信(草島進一さん配信)(前半、後半に分割)



【前半】 <https://youtu.be/GNF7EI3hf94>

【内容】

- ラムサール賞受賞報告：
2022年11月にCOP14でワイズユース部門を受賞
- ガン類の歴史の変遷：
文化としての雁、分布・個体数の変化、主なガン類、渡りの経路
- 稀少ガン復活の取組：
シジュウカラガンはなぜ絶滅に瀕し、どのように復活したか



【後半】 <https://youtu.be/ITYoypYOnII>

【内容】

- ガンに学ぶ気候変動：
気候変動で変化するガン類の分布と行動の変化；中継地が越冬地化し、越冬地が北上。
- ガンと農業との共生をめざすラムサール条約を活かした取りみ：
蕪栗沼周辺での湿地復元、ふゆみずたんぼの取り組み。地域合意で湿を復元し、農業との共生とガン類の分散化をめざす取り組み。
- 質疑

【以下は、スライドのみ】

https://drive.google.com/file/d/1fn5_p48nzaxybPKavS-WwI_g0Rs03PWol/view?usp=sharing

【内容】

- 田んぼを食べるプロジェクト：ご飯もおかずもとれる田んぼの復権
ご飯(お米)もおかず(田んぼの生きもの)もとれる複合生産の場としての田んぼ
視点を変えると資源になる。除草から収穫へ。コナギを味方にするおいしい話。
- 自然の力を活かした湿地の管理：蕪栗沼市白鳥地区での自然越流を活かした湿地管理
自然越流による湛水・攪乱が陸地化を抑制

+++++++ end ++++++